

落花生の収穫体験

たかおかこども園の年長児60人



力いっぱい引き抜いて笑顔を見せる園児



大きい落花生が取れたよ

富士市厚原のたかおかこども園(渡邊宏行理事長・園長)は26日落花生とカボチャ、キャベツの収穫体験を始めた。同日から3日間にわたり、同園近くのなかよし畑で、1クラス20人ずつ計60人の年長児が参加する。

園児たちは今年5月に落花生の種まきに挑戦。園児の祖父母や父の協力を得ながら、草取りや水やりなどの管理をして育ててきた。収穫体験では、立派に成長した落花生を力いっぱい引き抜くと、「見てー見てー大きいのが取れたよ」と大喜び。なかなか抜けないときには、園児同士で「頑張っ」と声を掛け合う姿もあった。

鎌を使ったキャベツの収穫は、興味津々の様子で見学。収穫されたキャベツを手にした園児たちは「重い」大きな

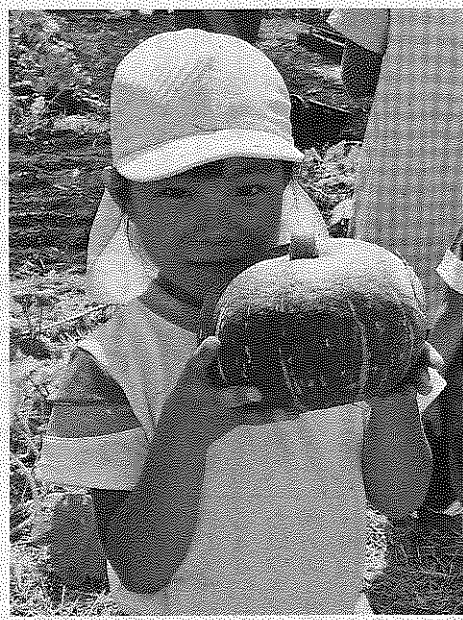
「大きい」と言い、じっくりと観察していた。収穫した落花生などは、給食で味わう予定。同園では食育の一環として畑でさまざまな作物を栽培している。作物の成長過程を学ぶ機会を創出している。



畑に咲くヒマワリ(上)、力を合わせて収穫(右)



カボチャを手にとっこり(右)、じっくりとキャベツを観察(上)



作物の成長過程を学ぶ



鎌を使ったキャベツの収穫を見学